科目名	世界史 （World History）

学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数
第3学年	機械工学科 経営情報学科	履修	2 単位	—	講義	通年 90 分/週	60 時間

担 当 教 員	【常勤】岩元 修一

学 習 到 達 目 標

科目の到達目標レベル	世界史はこの地球の成り立ちから人類の進化や技術・社会・文化の変化について総合的に学ぶ科目である。本講義では①授業で取り上げる国・地域の技術・社会・文化がどのように変化してきたかについて理解し、同時に②同時代の他の国・地域との関わりを理解できるようになることを到達目標レベルとする。

学習・教育目標	(F)	JABEE基準1（2）	

関 連 科 目 ， 教 科 書 お よ び 補 助 教 材

関連科目	現代社会、倫理
教科書	「高等学校 改定版 世界史A」（第一学習社）
補助教材等	「プロムナード世界史 最新版」（浜島書店）

達 成 度 評 価 （%）

評価方法 / 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	30	20	20					100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	○	○					
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】	○	○	○	◎					
汎用的技能【 】									
態度・志向性(人間力)【 】	○	○	○	○					
総合的な学習経験と創造的思考力【 】									

学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言

自学自習の内容は授業前日までに予習し、授業日に復習すること。
・小テストでは地名、国名や授業内容に即した基本事項の確認を行う。あわせて自学自習の理解度確認として「口頭試問」を行う。自学自習の成果の一部として「知識の基本的な理解」「態度・志向性（人間力）」としても評価する。
・レポートは「思考・推論・創造への適用力」を評価するために長期休業を利用して実施する。
◎教科書・プロムナードの不携帯は減点の対象とするので、毎回、持参すること。
欠席状況は各自で授業担当教員に確認すること。
再試は実施しないので注意すること。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
1	導入	授業の進め方と評価方法の説明を理解できる。過去を振り返る前提ともなる現代の課題を理解できる。	予習として教科書の178～185ページを読み、概要を把握しておく。
2	人類の登場	人類がどのようにして食料を獲得してきたのか、現代の食料事情と関わらせつつ理解できる。	予習として教科書の5～7、24、12・13ページを読み、概要を把握しておく。
3	西アジアと諸文明	現代の国家と比較しながら、メソポタミア・エジプトを中心に当時の国家・社会を理解できる。	予習として教科書の30・31ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
4	ヨーロッパと古代ギリシアの文明	現代の国家と比較しながら、古代ギリシアを中心に当時の国家・社会を理解できる。	予習として教科書の30・31ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
5	ローマ帝国	現代の国家と比較しながら、古代ローマを中心に当時の国家・社会を理解できる。	予習として教科書の32ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
6	南アジアの社会	現代の国家と比較しながら、古代インドを中心に当時の国家・社会を理解できる。	予習として教科書の20～23ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
7	東アジア世界	現代の国家と比較しながら、古代中国を中心に当時の国家・社会を理解できる。	予習として教科書の12～14ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
8	中間試験		
9	・答案返却、解答解説。 ・ヨーロッパとキリスト教	・試験問題の解説を通して間違った箇所について従来の理解を修正できる。 ・キリスト教の成立及びキリスト教とヨーロッパの関わり方について理解できる。	予習として教科書の33～39ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
10	大航海時代の世界（1）	モンゴル帝国に始まる世界の一体化の動きを理解出来る。	予習として教科書44～45・48ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
11	大航海時代の世界（2）	ルター・カルヴァンの宗教改革について理解できる。	予習として教科書の50～53ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
12	大航海時代の世界（3）	イギリスの宗教改革とカトリック教会側の対抗宗教改革について理解できる。	
13	大航海時代の世界（4）	ヨーロッパの海外進出とアジア・アメリカ大陸との関わり方を理解できる。	予習として教科書の54～57ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
14	覇権国家の成立	オランダ・イギリスの覇権確立の過程を理解できる。	予習として教科書の66～68、70ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
	期末試験		
15	・答案返却、解答解説。 ・レポートの説明	・試験問題の解説を通して間違った箇所について従来の理解を修正できる。 ・夏季課題について理解できる。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 （予習・復習）
16	アメリカの独立	北米植民地がどのようにして独立したのか、理解できる。	予習として教科書の74～75ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
17	フランス革命	フランス革命で何が変わったのか、ナポレオンとはどのような人物か、理解できる。	予習として教科書の76～81ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
18	中南米の独立	中南米諸国の独立の背景とその過程を理解できる。	予習として教科書の82・83ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
19	産業革命（1）	産業革命の背景としての大西洋三角貿易と生活革命を理解できる。	予習として教科書の71～73ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
20	産業革命（2）	産業革命の展開、その後の新たな展開を理解できる。	予習として教科書の84～87ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
21	西部開拓の時代	19世紀のアメリカの発展と第二次産業革命について理解できる。	予習として教科書の98～101ページを読み概要を把握し、関連するプロムナードも読んでおく。
22	世界市場の形成	19世紀のイギリスについて理解できる。	予習として教科書89・90、102ページを読み概要を把握し関連するプロムナードも読んでおく。
23	中間試験		
24	・答案返却、解答解説。 ・イスラムの歴史	・試験問題の解説を通して間違った箇所について従来の理解を修正できる。 ・イスラム教の概要を理解できる。	予習として教科書の26～29ページを読み概要を把握し関連するプロムナードも読んでおく。
25	オスマン帝国の歴史（1）	オスマン帝国について理解できる。	予習として教科書の62～65ページを読み概要を把握し関連するプロムナードも読んでおく。
26	オスマン帝国の歴史（2）	オスマン帝国の危機と西アジアの民族運動について理解できる。	予習として教科書104・105ページを読み概要を把握し関連するプロムナードも読んでおく。
27	南アジア・東南アジアの植民地化	イギリスのインド支配及びヨーロッパの東南アジア支配について理解できる。	予習として教科書106・107ページを読み概要を把握し関連するプロムナードも読んでおく。
28	清の動揺（1）	アヘン戦争・アロー戦争と太平天国について理解できる。	予習として教科書60・61・108～9ページを読み概要を把握し関連するプロムナードも読む。
29	帝国主義の時代	帝国主義とはなにか、欧米の植民地拡大の背景を理解できる。	予習として教科書の111～116ページを読み概要を把握し関連するプロムナードも読んでおく。
	学年末試験		
30	・答案返却、解答解説。 ・授業改善アンケートの実施。	・試験問題の解説を通して間違った箇所について従来の理解を修正できる。	
総 授 業 時 間 数			60 時間